

目標達成計画

事業所名：グループホーム アート園

作成日：令和2年 12月 16日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間	目標達成状況(任意)
1	14	人権教育を事業所独自のテキストを準備したりして行っているが、更なる知識の習得を目指す	人権教育の質を高め、人権に関して更なる知識を習得する	①コロナ禍の影響が終了した時は、外部の研修に参加したり、講師を招き研修を行う。 ②図書館などで人権に関するDVDを借りてきて園内での研修に役立てる	6 か月	
2	10	以前は家族会が存在し家族の意見を聞く機会があったが、現在は家族会がないので直接意見を聞く機会が少ない	家族会の再開もしくは、替わりの機会を提供し家族の意見を聞く機会を増やす	①コロナ禍の影響が終了し、家族の面会が再開された際には、家族の面会時に家族会の再開を折に触れてお話しし、再開を試みる。 ②行事などの際、家族が集まる機会があった時は茶話会などを企画し家族の方をお話する。	6 か月	
3					か月	
4					か月	
5					か月	

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】

実施段階		取 り 組 ん だ 内 容 (↓ 該当するものすべてに○印)	
1	サービス評価の事前準備	☒	①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
			②利用者へサービス評価について説明した
			③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
			④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
			⑤その他()
2	自己評価の実施		①自己評価を職員全員が実施した
			②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
			③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		☒	④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
			⑤その他()
3	外部評価(訪問調査当日)	☒	①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		☒	②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		☒	③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
			④その他()
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開		①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
			②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
			③市区町村へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った(予定である)
			④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
			⑤その他()
5	サービス評価の活用		①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
			②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
			③「目標達成計画」を市区町村へ説明し、提出した(する)
		☒	④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
			⑤その他()